

ロボカップジュニア レスキューチャレンジ レスキューA 2010年ルール よくある質問と回答

最終更新日：2010年3月3日

作成者：レスキュー技術委員

Q1. 2010年ルールでは、「黒いラインは交差させてはいけない」という記述がなくなりましたが、黒いラインは交差することはありますか？

A1. 黒いラインは交差しません。また、分岐ありません。

Q2. 2010年ルールでは、「直角や直角を超える角度で曲げたり・・・」という記述がなくなりましたが、直角より小さな角度で曲げることはありますか？

A2. 直角より小さな角度で曲げることはありません。

Q3. 2010年ルールでは、スピードバンプは「縦半分に割ったもの」という記述がなくなりましたが、変更されたのでしょうか？

A3. 変更されました。スピードバンプは縦半分に割りません。
直径10mmの棒をそのまま使用します。
スピードバンプは白いテープでタイルに固定します。

Q4. 赤色のゾーンに被災者(缶)はいくつありますか？

A4. 被災者(缶)は1個だけです。

Q5. 被災者(缶)を避難場所に救助した後、ゴールする必要はありますか？

A5. いいえ、被災者(缶)を避難場所に救助した時点で終了です。

Q6. 被災者(缶)はどの時点で、救助したと認められますか？

A6. プライマリ： 被災者(缶)全体が避難場所に入った時点で救助完了とみなし終了します。
セカンダリ： 被災者(缶)全体を避難場所に置いて、ロボットが被災者を放した時点で救助完了とみなし終了します。

Q7. 被災者(缶)の素材は、アルミですか、スチールですか？

375mmの缶が売っていません。どうすれば良いですか？

A7. 素材は規定されていません。大会主催者が用意したものを使用します。

被災者(缶)が磁石にくっつく保証はありません。

缶は、大会開催地で入手しやすいもので代用してかまいません。

日本国内であれば、330mm～350mmの缶が良いと思います。

Q8. 被災者(缶)の重量は150gですか？

A8. 缶の中に150gのおもり（粘土、米、砂など）を入れるので、缶の重量+150gになります。

Q9. 被災者(缶)を置く場所は全ての競技者で同じですか？

A9. いいえ、置く場所は毎回変えます。被災者(缶)はスタート直前に、審判によって赤いゾーンに置かれます。

被災者を探索して発見してください。被災者(缶)の場所を覚えて、救助するロボットを排除するためです。

Q10. 避難場所は何処に置かれますか？

A10. 2階の部屋の入口を除いた3ヶ所の角のいずれかに置きます。

避難場所の場所は、同じラウンドのあいだは変更しません。

Q11. PSD センサー（光位置センサー）を使いたいのですが、壁は透明板から変更されたでしょうか？

A11. レスキューAでは、壁の素材、色は規定されていません。透明板の場合もあります。

Q12. コース用のタイルのデザインは決まっていますか？

A12. ルールで決められたデザインはありません。大会主催者が作成したものを使用します。他の大会で使用したサンプルはありますが、同じものが使用される保証はありません。

Q13. 進行の停止で、持ち上げペナルティを受けた時、その部屋で獲得した障害物などの得点はクリアされますか？

A13. クリアされません。同じ課題を2回以上成功しても1回分しか得点にはなりません。

Q14. 車体の大きさに制限はありますか？変形してもよいですか？

A14. スタート時にスタート台の面積（30cm×30cm）に安定して置ける大きさであればよいです。ただし、最初の部屋の入口にかかってはいけません。
スタート後にロボットが変形してもよいですし、変形後の大きさに制限はありません。ただし、部屋の出入り口は25cm×25cmです。

Q15. 調整に時間が掛かり、スタート時間を過ぎてもスタート出来ない場合は失格ですか？

A15. いいえ、失格にはなりません。時間計測は開始されます。

Q16. ルール 2.2.2 の失格になる基準はなんですか？レゴ マインドストーム(RCX, NXT)は使えますか？他のロボットキットはどうですか？

A16. 日本国内で良く使われているロボットキットについてまとめておきます。
レゴ マインドストーム (RCX, NXT)： 問題なく使用できます。

Top Junior 3, e-Gadget : 問題なく使用できます。

BeautoChaser : 問題なく使用できます。

Robo Designer : 問題なく使用できます。

失格になるのは、次のような場合です。

- (1) ロボットを組み立てただけで、センサーやプログラムの知識がなくても、ラインレースが出来てしまうような製品を使っている場合。
- (2) ロボットキットにオプション部品を付けただけで、チーム独自の工夫が見られない場合。
- (3) サンプルプログラムのままや、教室で習ったままのプログラムでチーム独自の工夫が見られない場合。

※チームが使用するロボットキットが大会で使用できるか確認したい場合は、各ブロックの技術委員に問い合わせてください。